

# 北九州市環境未来都市

～環境未来都市の実現に向けたパートナーシップの創造～



平成27年10月27日 第5回「環境未来都市」構想推進国際フォーラム  
北九州市長 北橋健治

# 北九州市の概要

～地理的優位性、恵まれた自然～

## 【北九州市】

昭和38年に5市対等合併により誕生  
(全国6番目の政令市)

- ・面積：491.95km<sup>2</sup>
- ・人口：959,224人
- ・世帯数：430,034世帯
- ・高齢化率：28.2% (政令市1位)

(平成27年6月1日現在)

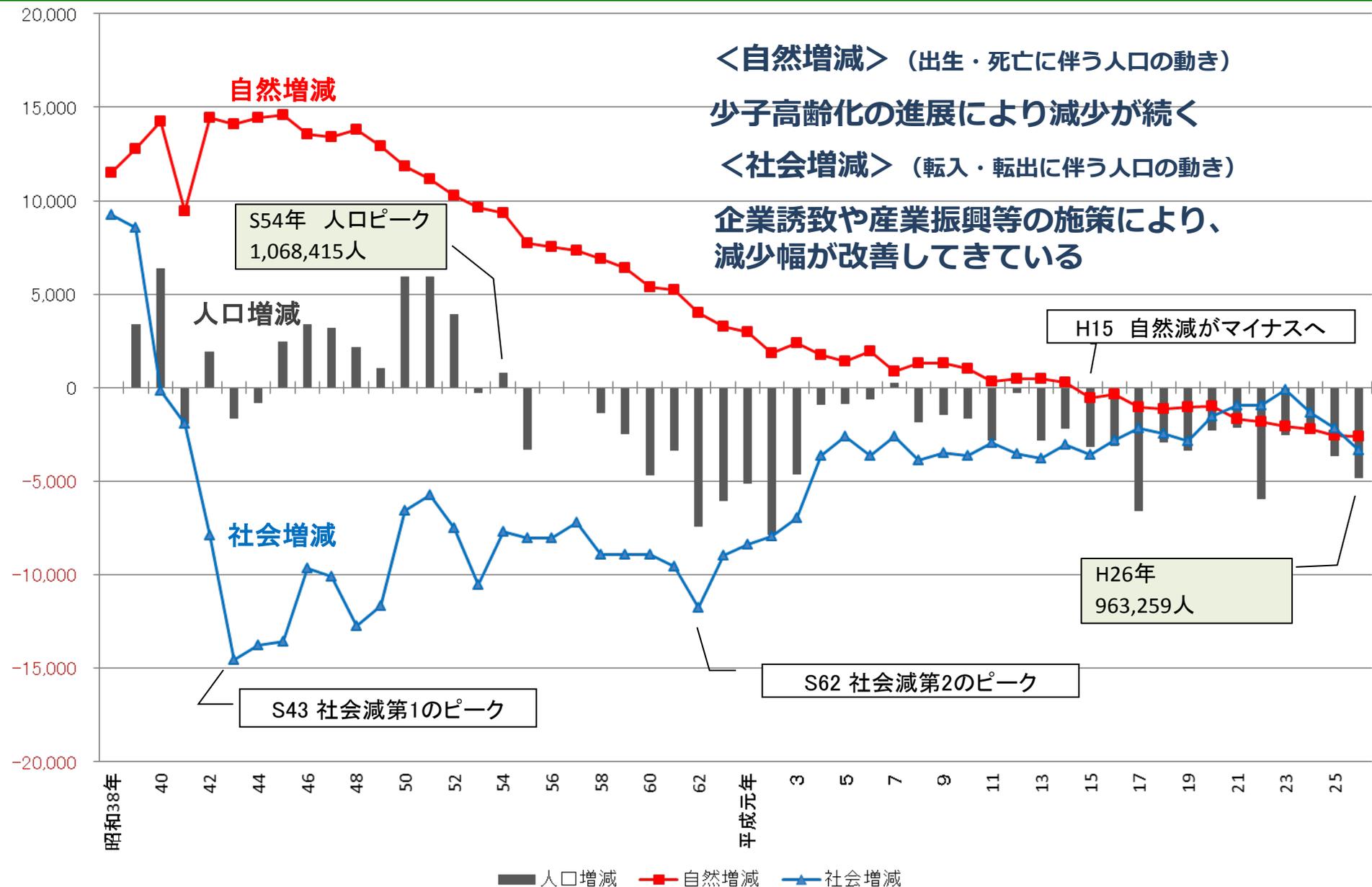


- 日本列島の西端、九州の最北端に位置 ⇒ アジアのゲートウェイ
- 産業集積と技術力を誇るモノづくりのまち ⇒ 鉄鋼・金属・環境・ロボット・自動車関連など
- 豊かな自然に恵まれたまち ⇒ 210kmの海岸線、市域約40%が森林



# 北九州市の概要

## ～人口増減（自然増減、社会増減）の推移～



# 地方創生の取組み

## 北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略

### 基本方針

女性と若者の定着などにより社会動態をプラスにしていき、地方創生の「成功モデル都市」を目指す

### 基本目標

#### ①しごとの創出

- 市内大学生地元就職者数  
**1.5倍（地元就職率10ポイントアップ）**  
（例）市内就職希望者（32%）と就職者（22%）のギャップ（350人）の解消
- 市内新規雇用者数  
**2万人**
- 空港利用者数増  
**126万人⇒200万人**  
航空貨物取扱量  
**倍増（15千トン⇒30千トン）**
- ものづくりと環境・エネルギーに関する経済波及効果  
**約9,500億円**

#### ②ひと「新しい人の流れをつくる」

- 首都圏からの本社機能移転等  
**30社**
- 小倉駅新幹線口年間集客数  
**300万人以上（年間）**
- 外国人観光客  
**倍増（13万人⇒26万人）**

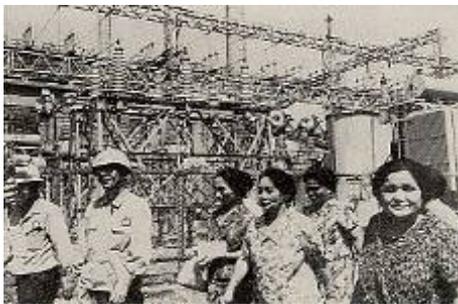
#### ③ひと「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

- 女性の就業率  
25～44歳の女性就業率を**65.9%から70%**に高める
- ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業  
**累計800社**
- 合計特殊出生率 政令市**トップクラス**を維持

#### ④まち「時代に合った魅力的な都市をつくる」

- 「本市への誇りや自信がある」と答えた市民の割合  
**57%（H25年度）⇒80%以上**
- 体感治安の向上「安全だ（治安がよい）」  
と思っている市民の割合  
**76%（H26年度）⇒90%以上へ**
- 刑法犯認知件数（人口千人あたり）  
**政令市12位⇒ベスト3へ**
- 少なくとも今後40年間で公共施設保有量を**20%削減**

# 公害克服の経験 ～官民連携による都市課題の解決～



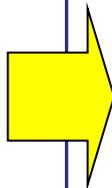
市民による企業視察

市民

パートナーシップ

行政

企業



## 環境再生を果たした北九州市

1960年代



現在



規制・監視の強化

公害防止協定の締結

公害のまちから「環境未来都市」へ  
市民のシビックプライドの醸成

# 北九州市環境未来都市の取組み

～環境・社会・経済の相乗効果による価値創出～

## 環境モデル都市 北九州グリーンフロンティアプラン (平成25年度次期行動計画策定)

### 環境価値



ふれあい花壇・菜園



日明汚泥燃料化センター (H27.10月完成)



安全・安心なまちづくり

### 社会的価値

## 健康モデル都市

北九州市健康づくり推進プラン  
(平成25年3月策定)



介護ロボットの導入促進

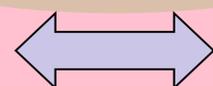
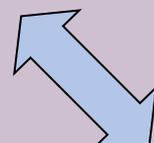


都市インフラの海外展開

### 経済的価値

## 北九州市新成長戦略

(平成25年3月策定)



# 地域エネルギー拠点化推進事業

## 多様なエネルギー供給の総合ショールーム【響灘地区】

### ①一次エネルギーの備蓄基地

- ・石油備蓄基地
- ・石炭輸入基地
- ・LNG輸入基地



### ③再エネルギー・新エネルギー

- ・洋上を含む風力発電
- ・大規模太陽光発電
- ・水素(SHS)



### ②火力発電

- ・石炭利用高効率発電技術(EAGLE)
- ・バイオマス石炭混焼火力発電
- ・高効率LNG火力発電



### ④産業とリンクしたエネルギー

- ・CDQ設備
- ・火力発電の資源・エネルギー融通



低炭素・安定・安価なエネルギー拠点の形成を目指す

●未利用市有地や公園の一部を有効活用

無償で地域の自治組織等に市有地を貸出

花壇・菜園として利用

街なかの  
緑を増加

高齢者の  
健康づくり

高齢者の  
生きがいづくり

多世代交流  
地域力UP



# アジアに貢献する都市環境インフラの海外展開

公害克服の  
経験



最先端環境関連技術  
都市環境インフラ技術



長年国際貢献で培った  
各国とのフレンドリーな関係

## 環境と経済が両立する「グリーンシティ」の海外展開

ハイフォン市（ベトナム）  
グリーン成長推進計画策定支援  
U-BCF整備事業（海外水ビジネス）受注

カンボジア主要9都市  
海外水ビジネスの展開



ハイフォン市で稼動しているU-BCF



廃棄物分別中間処理施設（スラバヤ市）

スラバヤ市（インドネシア）  
廃棄物管理・エネルギー・排水処理など  
総合的なグリーンシティの輸出

インド・中国・ミャンマーなど  
エコシティの推進や電気・電子廃棄物の  
リサイクルなど



## 介護ロボットの導入促進（国家戦略特区に提案）



世界的に有名なロボット企業が存在

### ▶ (株)安川電機



移乗アシスト装置



REWALK  
(脊髄損傷患者向け  
歩行アシスト装置)

### ▶ TOTO(株)



ベッドサイド水洗トイレ

### ▶ 富士ソフト(株)



PALRO  
(コミュニケーションロボット)

### ▶ リーフ(株)



Tree  
(歩行リハビリ支援ツール)



学

充実した開発体制、豊富な人材

(理工系大学・大学院、高専等の卒業予定者数：約4,500人/年)

### ▶ 産業医科大学

産業医の育成と労働安全衛生に関する研究を行う日本唯一の医科大学

### ▶ 九州工業大学 社会ロボット具現化センター

「極限環境」「医工連携」「メカトロニクス」「ロボット教育」を柱とし、研究成果の社会還元、次世代ロボット開発を推進



官

実証・導入支援体制

### ▶ 北九州市介護ロボット普及推進会議

### ▶ 福祉用具プラザ

(社会福祉法人 北九州市福祉事業団)

### ▶ FAIS (北九州産業学術推進機構) ロボット技術センター

産・学・官の連携により「研究開発」「実証」「評価」の拠点を北九州市に形成



### 北九州市独自

#### 認知症支援・介護予防の総合的な推進

##### (仮称)認知症支援・介護予防センターの運営

※ H28年4月～

- 本人・家族への支援、ネットワークづくり
- 認知症サポーター等の人材育成・活動支援
- 科学的実証に基づく予防プログラムの開発
- 健康・医療・介護関係の新産業振興の支援

#### アクティブシニアが活躍できる環境づくり

##### CCRC実証拠点づくり

- 北九州市版CCRCのモデル実証  
(健康づくり、生涯学習、社会貢献活動、  
地域社会との協働 など)
- アクティブシニアハローワーク設置  
(国家戦略特区に提案)



### 北九州市独自



### 北九州市独自

#### いのちをつなぐネットワーク事業

- 住民が社会的に孤立することがないように、地域全体で見守り、必要なサービスなどにつなげる

#### 認知症対策

- 認知症サポーター養成 ※養成数は政令市トップクラス
- 地域・民間・行政による認知症施策推進会議  
(オレンジ会議)
- 地域・民間・行政協働の徘徊高齢者等  
SOSネットワークシステム

#### 地域一体となった見守り支援



### 充実した高齢者支援

#### 地域包括支援センター ※市直営は政令市唯一

- 関係団体の協力による市直営のセンター運営
- #### 在宅医療・介護連携支援センター
- 医師会に医療・介護のコーディネート拠点を設置
- #### 質の高い充実した医療資源

#### 市民・関係団体との連携による質の確保

### 安全・安心に関する市民意識の高揚・行動の促進

- ・子ども、女性、高齢者の犯罪被害防止対策
- ・「(仮称) 学生安全・安心ボランティアサミット」の開催
- ・事業者の自主防犯活動の推進

### 地域における安全・安心に関する活動の推進

- ・「1万人の防犯パトロール大作戦」
- ・子どもの見守り活動の推進

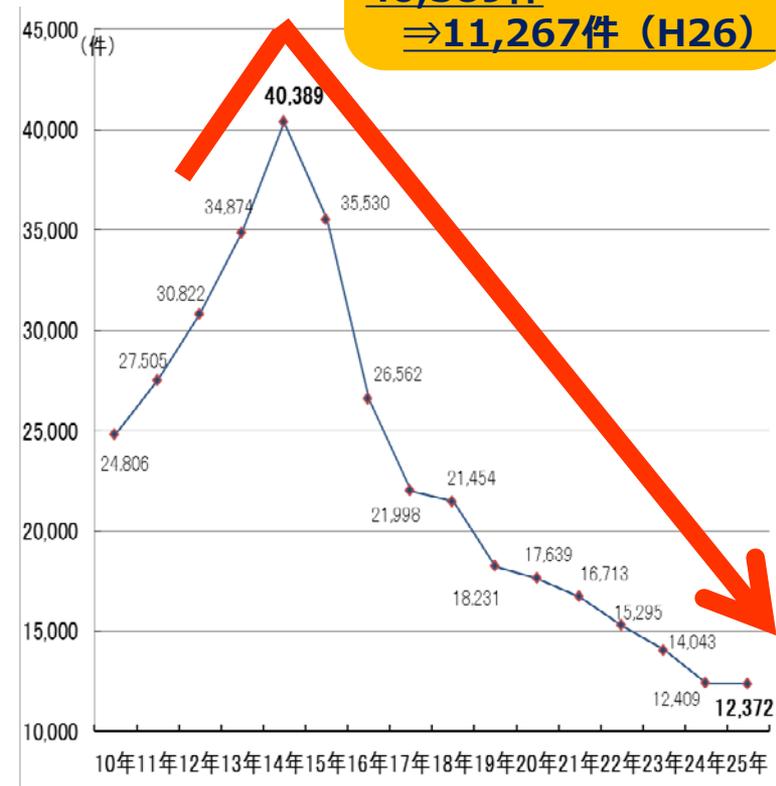
### 安全・安心に配慮した環境の整備

- ・防犯の視点も加えた道路や公園等のモデル事業
- ・通学路における夜間の安全対策強化
- ・防犯カメラの普及促進に向けた取り組みの推進

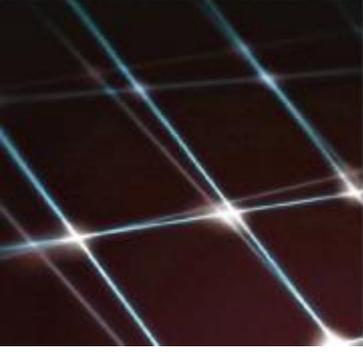


平成14年をピークに  
約7割減少

40,389件  
⇒11,267件 (H26)



刑法犯認知件数



北九州市は、まちの最大の財産である「市民の力」によって公害を克服した経験と超高齢化の課題先進都市としての強みを活かして世界の課題解決に貢献します。そして、官民パートナーシップの創造による環境未来都市の実現に向けて、市民が中心の「誰もが暮らしたいまち」「誰もが活力あるまち」を目指します。

